



長い暑い夏がようやく終わったと思っていたら、秋は駆け足で去って行き、気が付くともうクリスマスのことを考える時期になっていました。

私事ですが、先日初めての黙想会に参加してきました。不安でいっぱいでしたが、思いの外、リラックスした二日間（ほとんど英語で意味が伝わらなかったこともありましたが）を過ごすことができ、自分でも驚いています。日常生活を離れ、できるだけ沈黙し、祈りに没頭することが、これほど疲れをいやす効果があるとは思っていませんでした。

神に向き合う時間を大切にしたいと改めて思いました。

年末に向けあわただしくなりますが、いつも心の奥にひっそりと神と向き合う場所を持ってたらいいですね。

+++++

七五三の祝福

11月10日ミサの中で二人のお子さんの七五三の祝福が行われました。元気ですくすくと育ちますように、お祈りします。



+++++

クリスマス・元旦のミサのスケジュール

- 12月24日（火） 19：00～主の降誕夜半ミサ
- 12月25日（水） 10：00～ 主の降誕日中ミサ
- 1月 1日（水） 11：00～ 神の母聖マリアのミサ

+++++

成人の祝福について

2025年1月12日（日）ミサの中で成人（20歳）を迎える方の祝福を行います。希望される方は、受付の申込書に記入してください。

内容【七五三の祝福】【クリスマス・元旦のミサのスケジュール】【成人の祝福】
【信徒委員会】【典礼部】クリスマス飾付【青少年養成部】初聖体【成人養成部】
【デコレーション部】【カレンダー等販売】【毎日のミサ購読】【クリスマスパーティー】
【寄稿】一緒に行きたかった彼女【サモア～主によばれて（33）】

+++++
<信徒委員会・各部からのお知らせ>
+++++

<信徒委員会より>

- * 毎月第一日曜日は集会祭儀を行っていますが、来年1月5日より、北浦和教会の松井神父様の司式によるミサとなります。
- * 以前大宮教会の主任司祭をされていた鈴木三蛙神父様が金祝を迎えられます。此に靈的花束の用紙を置きましたので、お祈りください。

<典礼部より>

クリスマスの飾りつけについて

- * 馬小屋 11月24日(日) 10:00~とミサ後
- * イルミネーション 12月1日(日) 9:00~

<青少年養成部より>

初聖体の勉強会が始まります。

- * 初聖体 2025年6月15日(日) 11:00~のミサ中
- * 勉強会 2025年1月19日(日) 11:00(ミサ)~15:00
- 3月16日(日) "
- 5月18日(日) "
- 6月14日(土) 10:00~12:00

対象：現在小学2年生以上

持ち物：昼食・飲み物・筆記用具

- ・ミサに必ず与って下さい。
- ・勉強会には毎回参加してください。
- ・日程は変更になる場合があります。
- ・希望される方は受付の用紙に記入して齊藤まで提出してください。

(締め切り：2025年1月12日(日))

<成人養成部より>

CAS(クリスチャンアートスペース) 展覧会

11月1日~11月30日まで、教会2階ロビー壁面に作品を展示しています。ご自由にご覧ください。また教会ホームページにもスライドショーを載せています。ご覧ください。

待降節黙想会のお知らせ

12月8日(日) イエズス会のデ・スーザ神父様による講話と分かち合いを行います。

10:30 第一講話

11:00 ミサ

12:00~12:30 昼食(各自・黙食のこと)

12:30~13:00 第二講話

13:00 分かち合い

14:00 終了

デ・スーザ神父様の本(見本)をロビーに置きます。注文は12/1まで受け付けます。

黙想会当日にお渡しできます。

<デコレーション部より>

- ・11月24日(日) ミサ後にクリスマスツリーの設置を行います。脚立に上った作業になりますので、若い方にお手伝いいただけると助かります。よろしくお願いします。
- ・ツリーのオーナメントは自由に持ってきて飾っていただけます(12/24まで)。ただし高価な物、壊れやすい物などは補償できませんのでお持ちにならないでください。返却希望の場合、名前を記入すると確実です。
- ・クリスマスデコレーションとして、聖年のロゴのポスターの色のついた部分(十字架、人、波)をその色の紙や様々な素材で作った飾りを貼り付けて、立体的なロゴを作ります。ご協力をお願いします。

<カレンダー等出張販売>

12月15日(日)にサンパウロの出張販売があります。事前に予約が必要です。(未)

<毎日のミサの年間購読について>

「毎日のミサ」の年間購読を個人でされている方へご提案です。

大宮教会で「共同購入」をされませんか。共同購入されることで、カトリック出版部より、大宮教会への特典として、神父様の購読分、教会使用分の補填が増えます。どうぞご検討ください。尚、大宮教会の共同購入の期間は、新年度からとなります。申し込みは、2月よりお受けします。

「毎日のミサ」購読係 須田

<クリスマスパーティーのお手伝いを

してくださる方を募集します>

パーティーは12月24日(火)19:00~の夜半ミサ後12月25日(水)10:00~の主の降誕のミサ後に行います。

- ・ロビーに貼ってある紙にお名前を記入してください。
- ・お菓子(市販品)と飲み物(ペットボトルやスティックコーヒーなど)→ロビーに置いた箱にお入れください。
- ・手作りの焼き菓子(パウンドケーキ、マドレーヌ、クッキーなど)→パーティー当日お持ちください。(尚、材料費は各自負担でお願いします)皆様のご協力をお願いします。一緒にイエス様の誕生をお祝いしましょう。

パーティー係 伊藤・藤本・佐伯・工藤・齊藤

一緒に行きたかった彼女～初めての黙想会

(共愛会 於御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院)

宿泊を伴う黙想会に参加するのは初めてでした。共愛会がどんな団体なのかもよくわからないまま、新幹線で軽井沢へ。

浅間山を間近に見て、高校時代、登校途中噴火した灰が制服についたことを思い出す(笑)。

紅葉真っ只中、ドウダンツツジってこんなに紅くなったっけ?と思いながら、中軽井沢駅からタクシーで修道院へ。

共愛会とは、カトリックさいたま教区障害者連絡協議会。障害のある方、ない方、共に神の子として力を合わせ、み旨に応えられる共同体をめざそうという趣旨のもと、20数年前より活動-教区ホームページより-だそうです。

15教会から30人以上の参加。一人一部屋で、床暖房、バス・トイレ付。広い机と椅子とスタンドと聖書。壁には十字架とガダルーペのマリア様、そしてシスター手作りのお食事。

六角形の聖堂正面には御聖体。その上にはほぼ等身大と思われるイエス様の木製磔刑像。お祈りをする前から圧倒されました。

もう15年くらい前になると思います。

子供の時にはしかにかかり、脳と耳に障害が残ってしまった息子さんと共に、春日部教会の英語ミサに来ていたフィリピン人の彼女。彼女よりも大きくなった息子さんが、目を離した隙に玄関の方へ行ってしまっただけで追いかけている姿。常に側にいて気にかけて、手話で、体を使って、何度も伝えている姿。教会のお手伝いをするエプロン姿が思い出されます。

彼女の大変さを、私も周りの方達も、皆が見て感じていました。

しばらく彼女と息子さんの姿を見なくなり、数か月経って、英語ミサの中で彼女の訃報が伝えられました。他教区から来ていて、深いお付き合いのあるフィリピン人もいなかったようで、詳しいことがわからない中、シスターのお話では、家の中で転び、頭を打って亡くなったとのこと。ショックでした。

何がって、訃報はもちろんのこと、彼女の名前や住所、その他何も知らない自分に…。

彼女は私の名前も息子の名前も覚え、よく話しかけてくれました。「くどうさん…」と。

軽井沢から帰り、黙想会の余韻に浸りながら、ふと思い出したのは、一所懸命に生きていた彼女の姿でした。

とても濃い分かち合いや、パネラーの方の未来を見据えたお話や、神父様の考えさせられるお話、集まった方々の暖かい雰囲気等ではなく、彼女のことを書いている自分にびっくりしていません。もし彼女が生きていたら、きっと一緒に参加していたと思います。

共愛会の黙想会は毎年11月にあるそうなので、「来年は修道院の聖堂でもお祈りするね、息子さんのことも…」と、心の中で約束をしました。

まだしばらくある11月、亡くなられた方々に思いを馳せながら、より一層お祈りしたいと思います。

岩槻区 マリア・マグダレア 工藤

+++++

<講演会のお知らせ>

+++++

「能登半島地震の震源地をゆく～原発がないのは偶然か:列島で生きるということ」

日時:12月1日(日)14:00~16:30

場所:聖心侍女修道会管区本部地下ホール(東京都品川区東五反田3-8-5)

講師:山秋 真さん

参加費:無料

(詳細は受付に置いたプリントをご覧ください)

† サモア～主に呼ばれて (33) †

最初の 1 週間が終わった土曜日は、私の歓迎会ということでみんなでビーチに行きました。修道会主催でしたので、車を出してくれて、みんなで島の南側にあるパラダイスビーチと言うビーチに行きました。

このビーチの名前の由来は、ここが『リターン・トゥ・パラダイス』と言う映画のロケ地となったことから命名されたようです。村のすぐ近くの島を横断する道路を 30 分ちよっと行くと、島の南側にあるこのビーチに着きます。どこのビーチも村が管理していて、入場料を取られます。当時は一人 1 タラ (50 円) ほどでした。その時は分からなかったのですが、個人で行くことがあり、入口に看板が立っていて、子供に集金されたので、知ることができました。

このビーチに限らず、もともとサモアは火山の島なので、海岸は岩がごつごつしているところがほとんどですが、いくつか白い砂浜のビーチ



これはラロマヌビーチ

があります。でも、どこも海岸は狭いです。だいたい遠浅で岸から 150m くらいのところに少し大きな岩場かサンゴ礁があるようで、そこまでしか大きな波は来ません。海に入った後に、ビーチに寝っ転がって、上を見るとヤシの木の葉っぱと青空がとてもきれいで、癒される感じです。残念ながら海の中はサンゴ礁ではないので、魚はほとんど見られません。お昼には、シスターが作ってくれたサンドイッチの昼食を食べ、楽しい 1 日を過ごすことができました。

8 月に入ると陸上競技会がありました。国内の高校の大会です。とはいえ、陸上部があるわけではなく、参加種目も自己申告で、どちらかという和学校対抗の運動会のような感じです。首都アピアのはずれにある競技場で行われました。

朝、ピックアップトラックに乗り、競技場まで行きました。生徒たちは自分で申し込んだ種目に出ます。陸上用のスパイクを履いている町の生徒には勝

てるわけがありません。私たちの学校の生徒は、靴は持っていません。毎日履いているのは、ビーチサンダル。仕方なく、裸足で走っていました。今年が初めての開催か、初参加だったようで、翌年は校内予選をやりました。

帰りもてっきり学校まで送ってもらえると思っていたのですが、私たちボランティアの教員は置いてけぼりで、車は帰ってしまいました。仕方なく、バス停まで歩きました。バス停は競技場から徒歩で 30 分くらいかかりました。バスターミナルについて、バスに乗りました。バスは日本のトラックを改造したもので、形も特徴的です。座席は木で作られています。行先はフロントガラスに書いてあり、それを見て選びます。一番特徴的なのは、全員が座る必要があることです。座っていない人がいると発車しません。たまに、警察官が乗ってきてチェックするらしく、このルールは守られています。座席数より

人が多く乗ると、他人の膝の上に座ります。ちょうど大人が子どもを膝の上に乗せるようなものです。慣れないとびっくりします。私は外国人



なので、よっぽどのがない限り、一人で座ります。混み始めてくると若者が後ろに行って、誰かの膝の上に座ります。知り合いでなくても、当然のように膝の上に座らせたり、座ったりします。慣れたもので、混んでいれば女の人は男の人の膝の上に座ります。窮屈ですが仕方ないです。バス停はなく、降りるときは降りたいところで、天井に貼ってある紐を引っ張ります。そうするとベルがなり、運転手がバスを止めてくれます。乗るときは、バスが来たら手を挙げるとバスが止まります。乗り降り自由です。料金は詳しいことは分からないのですが、村と首都は片道 1 タラでした。当時は物価が安いので、バスで 1 時間かかるところでも、このくらいで移動できたのです。

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会の HP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿 (本などの感想、特集してほしいことなど) を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2 丁目 3 5 0 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

* おおみや教会通信 12 月号は 12/22

発行予定、原稿締め切り 12/1

